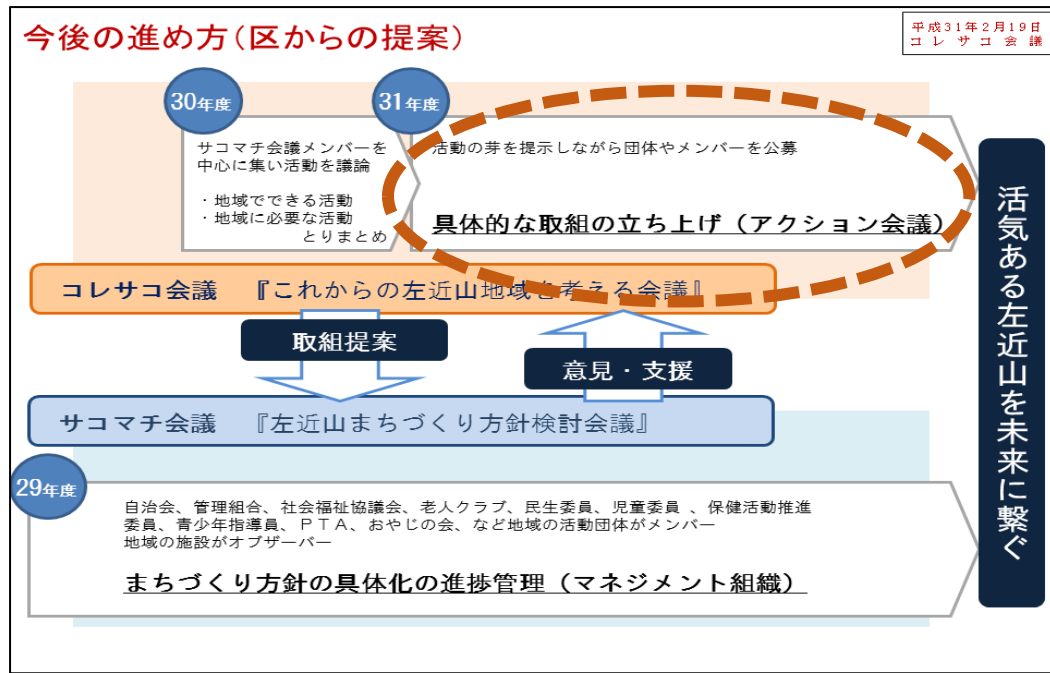


左近山団地再生に必要な地域の活動支援 ワークショップ コレサコ会議 報告 概要版

昭和 40 年代に開発された大規模団地では、急速な高齢化が進んでおり、医療・介護・生活支援のニーズの増大、地域活動の担い手の不足などの課題がある。昨年度は、左近山団地の再生において必要な機能を地域に導入するにあたり、地域が求める機能について明確化することを目的にワークショップ「コレサコ会議」及び住民アンケートを実施した。昨年度の検討結果を受けて、平成 31（令和元）年度は、具体的な活動を立ち上げることを目的として、ワークショップ「コレサコ会議」を実施した。

1 「コレサコ会議」の今年度の検討フレーム

今年度は、「具体的な取組の立ち上げ」を検討した。



2 活動メンバー掘り起こしのためのアンケート実施

団地居住者に対してボランティア活動の意向を聞く「左近山地域ちよこっと応援隊アンケート」を実施した。23組（24名）から記名の回答があり、その多くがこれまで地域活動とつながりのない方達で、新たな担い手につながるきっかけになった。

今年度の「コレサコ会議」では、ちよこっと応援隊アンケート回答者や既存の活動団体に声をかけ、3回のワークショップを開催した。

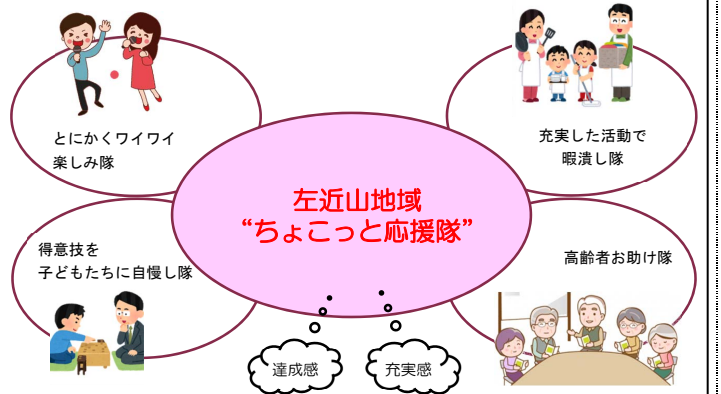
3 地域ケアプラザとの情報交換

ワークショップ実施に先駆けて、左近山地域ケアプラザへのヒアリングを行い、子育て世代の支援や子育て環境についての情報交換を行った。

- 子育ての仕方が変わってきている。（子育てサークルや園庭開放、地域のスポーツチームなど親が見る活動が敬遠され、フリースペースの利用やスポーツクラブなど「サービス享受型」に。）
- 左近山団地内のオープンスペースは豊かだが自分たちで使えると思っていない。
- 左近山生まれ・育ちのPTAが増え、「左近山が地元」という男性が地域を活性化させようとしている。

あなたの得意技をちょっとだけ活かしませんか！

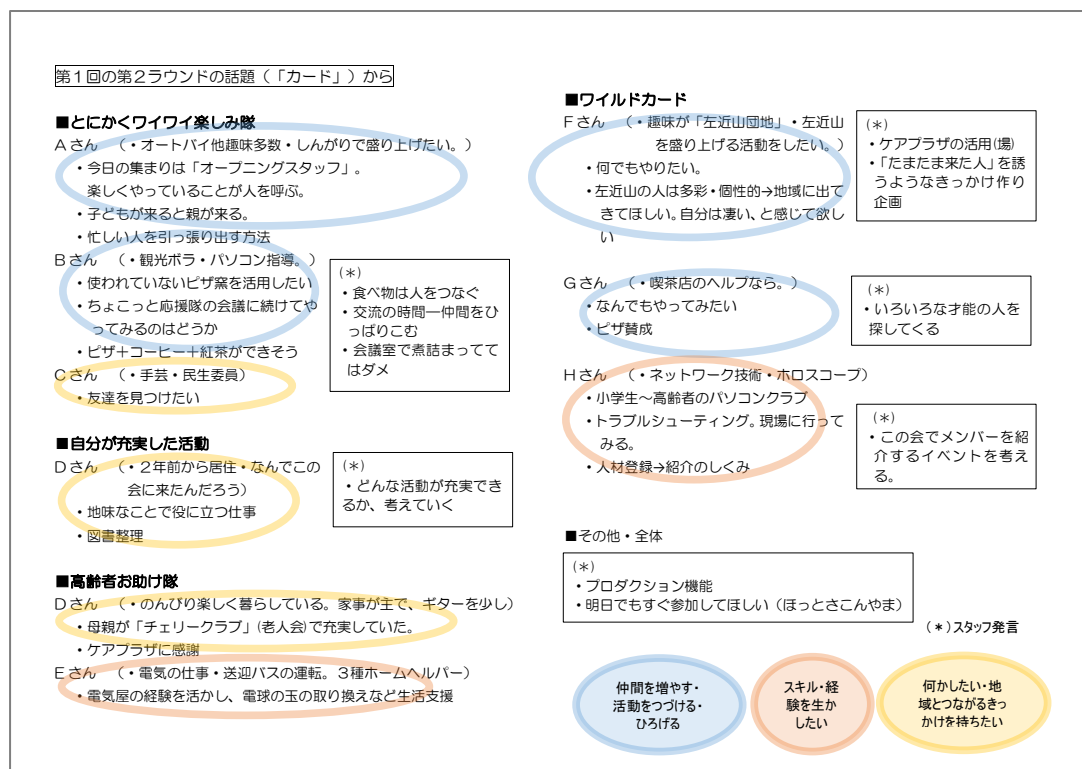
左近山連合自治会は『住みよい、豊かな環境の整備された団地づくり、ふるさとづくり』に取り組む50周年を迎えました。この機に活動の輪を広げるために左近山ちよこっと応援隊を立ち上げます。私たちが日々感じている充実感や達成感のおすそ分けをする代わりに、**あなたの得意技を学校ボランティアや地域活動、災害時ボランティア等でちょっとだけお借り致したく、あなたの特技、趣味、参加してみたいことをお伺いします。**お答えいただいた方が隊員です。



自慢できること好きなこと楽しめることを『ちょっとだけ』『何かのついでに』に参加するだけでいいのです。一緒に幸福感を味わいましょう！！このアンケートにお答えいただいた方には、年に数回、活動参加のお知らせが届きます。

4 「ちよこっと応援隊」3回のワークショップ

アンケート回答者 計 11 名と活動団体5団体、UR や地域ケアプラザがワークショップに参加し、地域との関わりや関心事、活動の状況を共有した。



「ちよこっと応援隊」始動に向けての行動目標（第3回の意見交換より）

活動団体や拠点を訪ねて活動を知ってもらう

活動紹介ツアー

ボランティアの具体的内容を伝えて参加しやすく

求人票

地域でのイベントの情報を集約し情報共有する

左近山カレンダー

「ちよこっと応援隊」への登録・活動とのマッチング

人材バンク（継続検討）

5 今後の進め方

○「求人票」「左近山カレンダー」の準備を始め、次年度の早い時期に、「活動紹介ツアー」を開催する。

○事務局機能の補強と人材バンクの仕組みを引き続き検討する。

